

# 男の手仕事

メンテナンス・マニュアル

キーワードは  
「自分でやる!」

全**20**カテゴリー

改訂版

- デニムの正しい扱い方 ◦
- 革ジャンの汚れ落とし ◦
- ワークブーツの皮革 ◦
- 愛犬のグルーミング ◦
- デジタルカメラの掃除方法 ◦
- クルマ、バイクの洗車 ◦
- 正しいテントの畳み方 ◦
- スピーカーをきれいにする ◦
- ラジコン、ミニカーの日常ケア ◦

その道のプロが推奨する  
愛用品の  
お手入れの  
徹底解説。手順を

# スエード 編

メンテ難易度

★★★★★

text/M.Kuwabara 桑原将嗣  
photo/T.Ogi 尾木司

**Q.** シミ、キズ、汚れが毛羽に詰まったときの対処は？

**A**

## 専用のシャンプーで洗淨し、ブラッシングで毛艶を復活！

スエードは使い込むほど独自のヨレ感と深い味わいが出て来る。しかし経年変化と汚れは別モノ。特に地の部分に汚れが定着すると、なかなか落とすことができない。やはり長く付き合うには定期的なメンテが必要なのだ。可能であれば1年に1回でいいので毛羽を起すブラッシングを心掛けたい。それでも毛羽に詰まった汚れが目立つ場合は、専用のケシゴムやシャンプーがオススメ。



Before

泡立てて洗淨する。



拭いてから日陰で干す。



見事に汚れが消えた！



Goal

After

シャンプーを漬ける。



シャンプーをフタに入れる。



スポンジに水を含ませる。



↑ 1931年の日米野球の時にアメリカのチームが着てきたツアージャケットを再現したウエアハウスの一着



Start

シワ部分が全体的にくすんで見える。

↑ シワ部分が全体的にくすんでいる。これをシャンプーで除去したい

今回のメンテ Tool



専用グッズが多く揃うスエードのケア用品。ケシゴムは毛羽の中の汚れを掻き出し、シャンプーは汚れを浮き立たせてくれる。ペダックのゴム付きブラシとコロニルの起毛皮革用防水スプレーは、スエードのアイテムを持つなら必需品と言えるだろう

毛羽の汚れを掻き出してからケアしたい。

毛羽の中の汚れを浮き立たせて除去したい。